

ICT機器等を活用した 効果的手法の試行・検証について

火災調査の業務効率化に向けた検討部会(第2回)

ICT機器等を活用した効果的手法の試行・検証

ICT機器等及び効率化に効果的と考えられるハードウェア及びソフトウェア一式を消防研究センター、消防本部等に貸し出して実際の火災調査業務への活用を通じ、業務効率化の状況等を検証する。

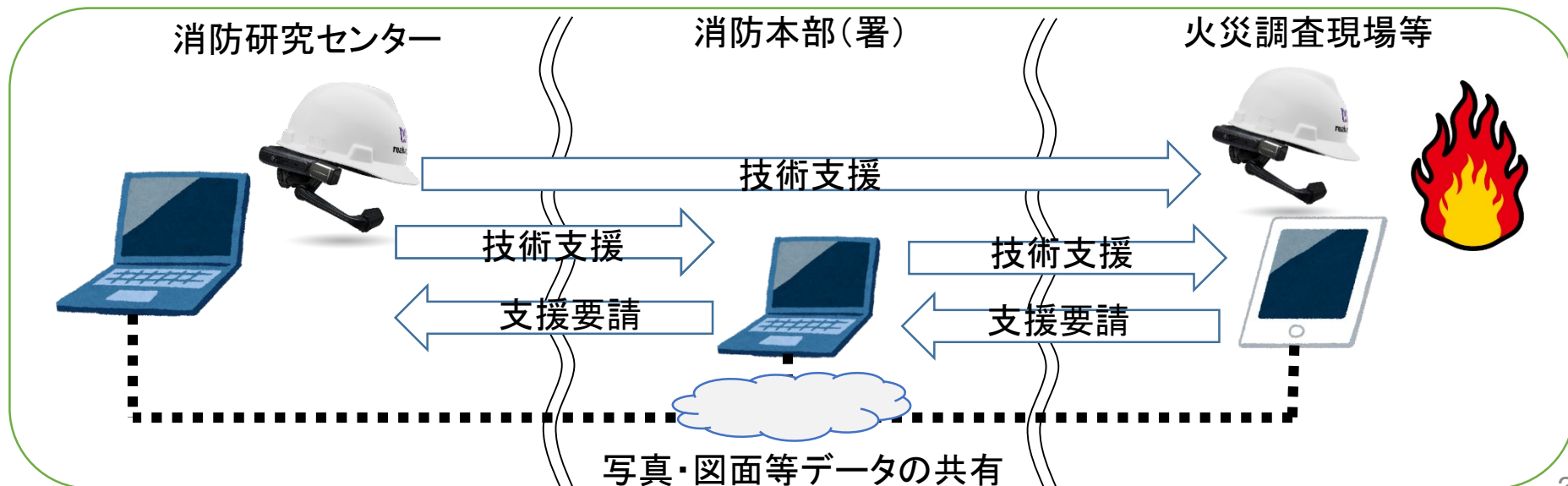
<検証要領>

- 検証期間(予定)10月～2月 (各消防本部 3週間程度)
- 検証内容 火災調査業務への活用を通じて縮減される業務量(事務処理日数)の、従来の業務量との比較検証や火災調査現場と消防本部(署)等との連携状況、その他使用にあたっての課題等を抽出

<検証に使用する機器等>

- ハードウェア
 - ・ノートパソコン
 - ・タブレット端末
 - ・360度カメラ
 - ・スマートグラス
- ソフトウェア
 - ・寸法計測ソフトウェア
 - ・写真整理ソフトウェア
 - ・図面作成ソフトウェア
 - ・遠隔支援ソフトウェア

<連携イメージ>



スマートグラス・遠隔操作ソフトウェア



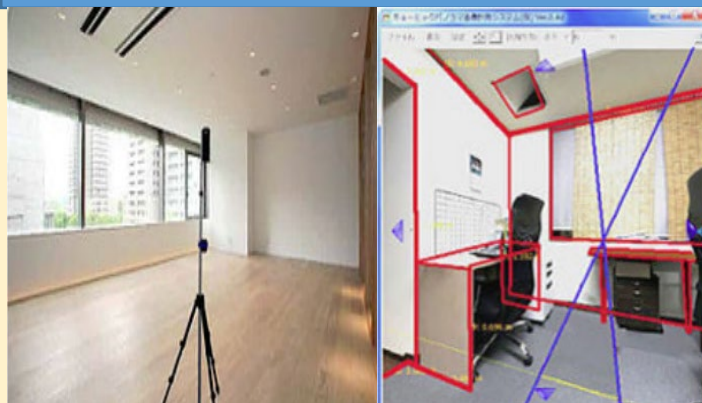
カメラ映像を共有することによる、火災調査現場の状況を遠隔地において共有し、遠隔による技術支援を行うことによる業務効率化・人材育成指導を想定

1 火災調査現場の写真や動画等の撮影を行い、遠隔地(消防本部等)と現場の状況の共有を行い、遠隔による技術支援等を通じて、その効果を検証する。

2 消防研究センターと火災調査現場・消防本部において、3者間で情報共有を行うことによる、連携効果を検証する。

※大阪市消防局・岡山市消防局のみ実施

360度カメラ・図面作成支援ソフトウェア



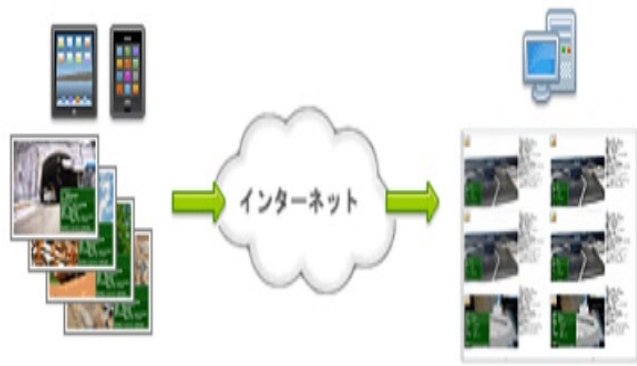
360度カメラの写真をもとに、寸法計測や3D図面を作成できるソフトを使用することにより、図面作成に要する業務量の短縮を想定

1 実況見分調書作成時において、出火室等の図面をソフトウェアを用いて作成し、通常と比較した業務量の削減等の効果を検証する。

2 出火室等を360度カメラで撮影を行い、記録した360度画像をもとに寸法計測ソフトを使用し、通常と比較した業務量の削減等の効果を検証する。

3 360度画像の人材育成・広報等の効果について検証する。

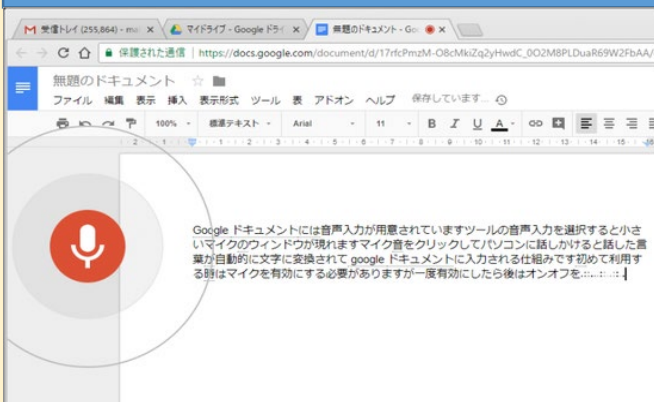
写真台帳整理ソフト・タブレット端末



タブレット端末を利用し、調査現場で写真撮影等を実施。リアルタイムで本部との情報共有を可能にすると共に、写真等の素材を一括で台帳等に保存。

- 1 火災調査現場において、撮影した写真をクラウドサーバーを経由して、遠隔地（消防本部）のPCに保存、本部において同時に写真整理を行うことによる業務量の削減等の効果を検証する。
- 2 実況見分調書作成時において、ソフトウェアを用いて作成し、通常と比較した業務量の削減等の効果を検証する。

音声認識機能・タブレット端末



タブレットの音声認識機能を使用し、実況見分のメモ、質問調書等を作成時の文字起こし等の作業の縮減を見込む

- 1 質問調書作成時において、ソフトウェアを使用して作成し、通常と比較した業務量の削減等の効果を検証する。
- 2 実況見分時においてタブレット端末を携行し、音声メモ等で状況を記録することにより、通常、手書きメモ等で記録する場合と比較した火災調査書類作成時の業務量の削減等の効果を比較する。